

---

# 令和元年度 (2019 年度)

---

## 札幌市立真駒内中学校 全国学力・学習状況調査

---

### 調査結果の概要及び改善の方向などについて

---

令和元年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、札幌市立真駒内中学校の調査結果をお知らせいたします。

- 本校の概要として、実施された国語・数学・英語に関して【区分及び領域】で概要を示しました。
- 次に、今回の調査における課題を教科の指導内容に照らして示しました。
- 最後に、改善の方向を教科指導の実際を踏まえ、示しました。
- また、生活習慣や学習環境に関する調査につきましても、顕著なものを取り上げてまとめました。

全国学力・学習状況調査 調査報告書については、下記の国立教育政策研究所ホームページも併せて御覧ください。

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

# 学力調査の結果概要及び改善の方向等について

## 【中学校国語】

### 本校の概要

### 今回の調査における課題

### 改善の方向

#### 【領域】

#### ◎「話すこと・聞くこと」

平均正答率は、全国平均を上回っている。

- ・「話合いの話題や方向を捉えること」「相手にわかりやすく伝わる表現について理解する」「話合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つ」について、全国平均を上回っている。

#### ◎「書くこと」

平均正答率は、全国平均を上回っている。

- ・「書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する」「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」について、全国平均を上回っている。

#### ◎「読むこと」

平均正答率は、全国平均を上回っている。

- ・「文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つ」「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」について、全国平均を上回っている。
- ・「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ」について、全国平均をやや上回っている。

#### ○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

- ・「封筒の書き方を理解して書く」「語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する」について、全国平均とほぼ同等である。

■[話す] 相手の発言を注意して聞き、自分の考えをまとめながら、話合いの話題や方向を捉えること。

■[書く] 書いた文章を読み直して、語句や文の使い方に注意して伝える内容が十分かどうか検討して書くこと。

■[読む] 文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりすること。

■[言語文化] 封筒の書き方について、授業で学習したことを復習し、実際に書く。

◇他者の発言内容もしくは文章がどのような意図を持つかを捉える学習活動の充実。

◇文章の段落相互関係に留意し、話の展開を理解するための学習活動の充実。

◇一度書いた文章を推敲する学習活動の充実。

◇新出語句や漢字の調べ学習を、図書館やICTなど適切な手段で補う機会の充実。

分類	区分	全国との比較
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	◎
	書くこと	◎
	読むこと	◎
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○
問題形式	選択式	◎
	短答式	○
	記述式	◎

※ +3.1%以上 = 上回っている    ±3% = ほぼ同程度    -3.1%以下 = 下回っている  
 ◎ で表示                      ○ で表示                      △ で表示  
 しています。

# 学力調査の結果の概要及び改善の方向等について

## 【中学校数学】

### 本校の概要

### 今回の調査における課題

### 改善の方向

#### 【領域】

#### ○「数と式」

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

- ・「数の集合と四則計算の可能性について理解している」において、全国平均とほぼ同等である。
- ・「連立二元一次方程式を解くこと」については、全国平均を下回っている。

#### ◎「図形」

平均正答率は、全国平均を上回っている。

- ・「三角形の合同条件を理解している」において、全国平均を大きく上回る。
- ・「平行移動の意味」「反例の意味」の理解は、全国平均と同程度である。

#### ○「関数」

平均正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

- ・「反比例の表から、 $x$  と  $y$  の関係を式で表すことができる」について全国平均を大きく上回る。
- ・「グラフ上の点 P の  $y$  座標と点 Q の  $y$  座標の差を、事象に即して解釈することができる」については、全国平均と同程度である。

#### ◎「資料の活用」

平均正答率は、全国平均を上回っている。

- ・「資料を整理した表から最頻値を読み取れる」「資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる」「問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきか判断できる」について、全国平均より上回る。
- ・「簡単な場合について、確率を求めることができる。」について、全国平均をやや下回る。

■連立方程式の解き方を正しく理解し、解くこと。

■関数に関わり、グラフ上の2点の  $y$  座標の差を、事象に即して解釈すること。

■簡単な場合の確率の求め方を理解し、求めること。

◇等式、不等式の操作及び基本となる方程式の解き方の習熟を図る活動の充実。

◇問題解決において用いたグラフのどの部分が何を表しているのかを、事象に即して解釈したり、説明し合ったりするなどの活動の充実。

◇確率などについての基礎的・基本的な知識を定着させ、その知識、技能を活用する方法の習熟を図る活動の充実。

分類	区分	全国との比較
学習指導要領の領域	数と式	○
	図形	◎
	関数	○
	資料の活用	◎
問題形式	選択式	○
	短答式	○
	記述式	◎

+3.1%以上=上回っている    ±3%=ほぼ同程度    -3.1%以下%=下回っている  
 = ◎ で表示                      = ○ で表示                      = △ で表示  
 しています。

# 学力調査の結果の概要及び改善の方向等について

## 【中学校英語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向																			
<p><b>【区分及び領域】</b></p> <p>◎「聞くこと」 平均正答率は、全国平均を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる」「まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる」「聞いて把握した内容について、適切に応じることができる」について、全国平均を大きく上回る。</li> </ul> <p>「話すこと」 ※札幌市全体の調査結果は国から提供されていない。</p> <p>◎「読むこと」 平均正答率は、全国平均を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確によみとることができる」「まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる」「まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる」「書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができる」について、全国平均を上回る。</li> </ul> <p>◎「書くこと」 平均正答率は、全国平均を上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる」「与えられた情報に基づいて3人称単数現在形の肯定文を正確に書くことができる」について、全国平均を大きく上回る。</li> <li>「与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる」「与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる」については、全国平均とほぼ同等である。</li> </ul>	<p>■ [聞く] 聞いて把握した内容について、適切に応じること。</p> <p>■ [話す] 月日に関する基本的な表現を理解して応答すること。情報や考えなどを即座にやり取りしたり、相手の発話の内容を踏まえて、それに関連した質問や意見を述べたりして、会話を継続させていくこと。</p> <p>■ [書く] 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと。</p>	<p>◇「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た知識等について、自らの体験や考えなどと結びつけながら活用し、「話すこと」や「書くこと」を通じて発信することが可能となるよう、技能の統合を図ることで思考力や判断力の育成を図る活動の充実。</p> <p>◇日頃の授業で継続的にやり取りをする機会を増やし、即興で伝え合う活動の充実。</p> <p>◇自分の考えをもつことができるようにすることや、伝えたいことを読み手に正しく伝えるために、語や文法事項等を正しく理解して書き表すことができるような活動の充実。</p>																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>区分</th> <th>全国との比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">学習指導要領の領域</td> <td>聞くこと</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>話すこと</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>読むこと</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>書くこと</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">問題形式</td> <td>選択式</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>短答式/口述式</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>記述式/口述式</td> <td>◎</td> </tr> </tbody> </table>			分類	区分	全国との比較	学習指導要領の領域	聞くこと	◎	話すこと	△	読むこと	◎	書くこと	◎	問題形式	選択式	◎	短答式/口述式	◎	記述式/口述式	◎
分類	区分	全国との比較																			
学習指導要領の領域	聞くこと	◎																			
	話すこと	△																			
	読むこと	◎																			
	書くこと	◎																			
問題形式	選択式	◎																			
	短答式/口述式	◎																			
	記述式/口述式	◎																			
<p>※+3.1%以上=上回っている    ±3%=ほぼ同程度    -3.1%以下=下回っている          = ◎ で表示                                  = ○ で表示                                  = △ で表示          しています。</p>																					

3学年4月実施【全国学力・学習状況調査のまとめ】

69個の質問から、全国・北海道平均との差が顕著である項目を取り上げ説明します。

本校の概要	調査における課題	改善の方向
<p><b>平均と比較し好ましい回答が多い項目</b></p> <p><input type="checkbox"/>新聞を読んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>読書は好きである。</p> <p><input type="checkbox"/>将来の夢や目標をもっている</p> <p><input type="checkbox"/>家庭で計画を立てて勉強をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。</p> <p><input type="checkbox"/>外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う。</p> <p><input type="checkbox"/>生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。</p> <p><input type="checkbox"/>授業で学んだことを、他の学習に生かしている。</p>	<p>■新聞を読んでいる生徒は全国平均より多いですが、全く読まないという生徒が半数近くいる。 読書が好きな生徒は、全国平均より高く、札幌市平均より少し低い傾向にある。</p> <p>■自分に良いところがあるかという問いに「あまりない」「ない」と答える生徒は平均より少ない。</p> <p>■学級生活をよりよくするための学級活動での話し合いや互いの意見のよさを生かして解決方法を学級で決めているとの回答が全国・札幌市平均より低い。</p> <p>■学校以外の普段の(月～金)の勉強時間が、2時間以上の生徒が全国平均より高い。一方で、30分未満という回答もある。</p> <p>■毎日同じ時刻に起床・就寝している生徒がいずれも全国平均より少ない。</p>	<p>◇朝読書の時間により読書習慣の定着を図る。昼休みや放課後の読書や学校図書館・地域の図書館の利用も促進する。 新聞を読むことは、地域や社会の動きを知る一つの手段であることについての啓発に努める。</p> <p>◇学校行事や学級活動等から自己肯定感や自己有用感をもてるような指導を工夫する。</p> <p>◇学級がお互いを認め合い、意見交流やよりよく生活するための学級作りや学校体制を作り、学習や活動において十分に力を発揮できる場面を作る。</p> <p>◇分からないことを質問し、計画的な学習ができるように、学校として、質問・相談をしやすい関係・環境を作る。</p> <p>◇各教科の話し合い学習や総合的な学習の時間、道徳、学級活動などでの意見交流ができる場面を増やし、多くの生徒が生き生きと活動できる場面を作る。</p> <p>◇生活習慣の基本となる体調管理や、学習内容の充実等の側面として、日課の自己管理ができる手帳を活用する。 御家庭ではさっぽろっ子「学び」のススメを参考に御指導ください。</p>